



特定非営利活動法人
あきたスギッチファンド

TEL 018-839-8941

FAX 018-829-5803

e-mail madoguchi@sugicchi-fund.jp

<http://www2.akita-kenmin.jp/~akita-npo-fund/>

平成28年度のスタートに当たって

今年度は役員改選に当たっておりますが、ほとんどの前期の役員の方々に継続して任に当たって頂くことになりました。また私も理事長に再選されました。これまで同様役員一同力を合わせてファンドの発展に尽力して参りますので、皆様の一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

スギッチファンドは、民設民営の市民ファンドとして全国的にも注目されておりますが、それは企業、市民、行政など社会全体から支援されているという点が評価されているのです。今後もこのスタンスを守って、ファンドの運営をして参りたいと思います。

ファンド設立以来ずっと県からの支援で、専任の資金調達員が一人おりましたが、今年度からは居なくなり、ちょっと不安な思いであります。他方、人口問題対策課から申し出があり、少子化対策応援ファンド400万円の補助金を頂くことになり、ほっとしているところです。

今年度は広報活動を強化するために、ホームページを大幅改修し、7月頃には公開予定です。ファンドを支えてくれる会員、寄付者の情報や、助成金を得た団体の活動状況等を分かりやすく伝えて参りますので、ぜひご覧下さい。

(理事長 菅原 展子)



総会報告

平成28年度総会が4月28日15時20分からパーティギャラリー・イヤタカ(秋田市中通6丁目)に於いて開催されました。司会者(佐藤文枝 NPO 法人秋田県北NPO支援センター事務局長)が正会員156名中、出席者21名、委任状59名で会議は成立した旨を告げ、開会しました。

次に理事長が、総会への出席と平素の協力のお礼を述べたのち、「今年度はあきたスギッチファンド設立時からの懸案であった県からの少子化対策応援ファンド400万円を補助金として頂くことになりました。大変嬉しいことですが、行政からの支援だけでなく、市民や企業の皆さんからの寄付金を活かしていくのがあきたスギッチファンドの大事な価値でもあります。今年度からは資金調達員もおらず、また事務局体制も整っていませんが、どのような運営をしていけるかが問われることとなります。皆様のご支援をよろしく申し上げます。」と挨拶をしました。

続いて議長に高堂裕氏を選出し、早速審議に入りました。第1号議案平成27年度事業報告、第2号議案活動計算報告について、事務局から説明があり、続いて監査委員が欠席のため、事務局が監査の結果事務が適正に処理されているという監査報告を代読しました。議長が第1号議案、第2号議案を一括して承認を求めたところ、満場異議なくこれらを承認可決しました。

次に第3号議案平成28年度事業計画(案)、ならびに第4号議案平成28年度活動予算(案)につい

て、それぞれ事務局が資料に基づき説明をしました。丸の内くるみ氏から少子化対策応援ファンドについて、佐藤定樹氏から事務局費、松村栄一氏からリース料について質問がありました。議長からは「あきたスギッチファンドの活動はなかなか地味だが地域には必要な活動であり、この地味な活動をどうしたら市民に周知できるか考えてみる必要があります。例えば今までに助成を受けた団体の活動はユーチューブなどへ手軽に載せられるし、チラシなどにQRコードを張り付けて携帯電話で見られるようにできます。それぞれの助成を受けた団体の活動が継続して見られることで、スギッチファンドの事業を多くの人に周知できるのではないかと思います。」と提案がありました。その後議長が第3号議案、第4号議案を一括して承認を求めたところ、満場異議なくこれらを承認可決しました。

(27年度事業報告、活動計算書、28年度事業計画、活動予算を参照)

第5号議案役員改選については、事務局が理事会で決定した案を配り、議長がこの提案について議場に諮ったところ、満場一致で承認されました。

続いて理事会で決定した、① 28、29年度少子化対策応援ファンド選考委員選任について、② 28年度本ファンド選考委員一部補充について、③ 28、29年度運営委員改選について報告がありました。(下表を参照)

以上により総会の全日程を終了しました。

あきたスギッチファンド役員一覧

役 職	氏 名	所 属
理事長	菅原 展子	NPO法人あきたパートナーシップ
副理事長	高橋 信子	NPO法人秋田県北NPO支援センター
〃	飼田 一之	NPO法人秋田県南NPOセンター
理事	阿部 和夫	有限会社阿部仏壇
〃	伊勢 昌弘	伊勢法律事務所
〃	北嶋 正	株式会社イヤタカ
〃	児玉 大平	株式会社秋田銀行
〃	小板橋 広吉	株式会社小板橋建設
〃	根田 昌治	NPO法人農楽舎
〃	佐々木 茂美	佐々木茂美税理士事務所
〃	佐藤 裕之	羽後設備株式会社
〃	塩田 充弘	ヨコウン株式会社
〃	高堂 裕	株式会社あくら
〃	丹 すみ子	湯沢あかねの会
〃	中村 昭一	NPO法人横手ひらか地域通貨ドーム委員会
監事	高井 宏司	高井会計事務所
〃	石川 昭作	NPO法人ハッピーライフセンター

任期は平成30年3月31日まで。

28、29年度少子化対策応援ファンド選考委員

氏 名	所 属
高橋 雄悦	株式会社秋田魁新報社 総務局次長兼総務部長
小林 建一	秋田県立大学非常勤講師、前聖園学園短期大学教授
高島 由美	株式会社プレステージ・インターナショナル BPO統括 秋田BPOキャンパス管理部長
佐々木 美奈子	NPO法人いきいきFネット秋田 秋田県男女共同参画センター 副センター長
久米 寿	秋田県人口問題対策課 政策監

任期は平成30年3月31日まで。

28年度本ファンド選考委員一部補充について

秋田魁新報印刷の藤原謙氏、NPO法人いきいきFネット秋田の長澤美知子氏の退任に伴い、その補充として、株式会社秋田魁新報社総務局次長兼総務部長の高橋雄悦氏、NPO法人いきいきFネット秋田秋田県男女共同参画センター副センター長の佐々木美奈子氏を、また秋田県地域活力創造課主幹藤原睦子氏異動による欠員補充として、同課主幹小松弘樹氏を選任しました。

28、29年度運営委員一覧

氏名	所属
恵比原 史	秋田県企画振興部地域活力創造課
根田 昌治 (理事兼)	NPO法人農楽舎
児玉 大平 (理事兼)	株式会社秋田銀行
菅原 展子 (理事兼)	NPO法人あきたパートナーシップ
高橋 茂	NPO法人秋田県南NPOセンター
高城 憲子	NPO法人秋田県南NPOセンター
松村 栄一	NPO法人子育て・高齢者介護サポートばっけの会
藤原 絹子	NPO法人秋田花まるっグリーンツーリズム協議会
畠山 順子	NPO法人あきたパートナーシップ
高杉 静子	NPO法人あきたパートナーシップ
柿崎 博美	東北IM連携協議会
佐藤 文枝	NPO法人秋田県北NPO支援センター
大塚 一生	NPO法人ミライ10
山内 今日子	NPO法人まちおこし結っこ

任期は平成30年3月31日まで。

総会終了後、同じ会場で株式会社 KEDAMA 代表取締役武田昌大氏による講演会が開催されました。



「秋田発、イケてる未来の田舎づくり」

講師 株式会社 KEDAMA
代表取締役 武田 昌大氏

秋田県の農業が稼げていないことに危機感を抱き、その原因の一つに流通があると考えました。そこで2010年、インターネット通販でこだわりのお米を直接消費者に届け、生産者と消費者の顔の見える関係を築く事業を開始しました。賛同する若い農業従事者3人と共にトラクターに乗る男前「トラ男」ブランドのお米を販売、年々販路を拡大し、秋田県農業に変革をもたらしています。



2015年には、日本の原風景を100年後まで残すにはどうしたら良いかを考え、消滅の危機にある五城目町の古民家を再生させる活動を始めました。古民家の一つの村に見立て、賛同する多くの村民が支える「share village」というユニークな事業は、全国的に注目され、村民は1200人に上っています。

「古民家から co-minka へ」 現在、古民家を守る事業を全国に広げていこうと、活動を進化させています。

武田氏の、秋田の未来・日本の未来へ馳せる熱い思いと、その斬新なアイデア・果敢な挑戦に、感激と期待の高まるご講演でした。

お知らせ ～今年度の助成事業スケジュール～

◎ 第15回あきたスギッチファンド助成事業

ファンド	助成率	募 集			
本ファンド	90%	10万円	2団体	30万円	4団体
		50万円	2団体		
分野指定 震災支援	90%	10万円	2団体		

募集期間 5月10日～6月10日
 審査会 7月 3日(日)
 事業期間 7月 4日～2月10日

◎ 第16回あきたスギッチファンド助成事業(予定)

ファンド	助成率	募 集			
本ファンド	90%	10万円	3団体	30万円	3団体
		50万円	1団体		
冠ファンド	100%	30万円	1団体	10万円	3団体

募集期間 10月14日～11月14日
 審査会 12月 3日(土)
 事業期間 12月 4日～8月31日

◎ 少子化対策応援ファンド

ファンド	助成率	募 集			
子ども・子育て支援等	100%	20万円	4団体	30万円	6団体
		50万円	2団体		

募集期間 4月20日～5月13日
 審査会 6月 6日(月)
 事業期間 6月 7日～2月10日

◎ 助成事業報告会 7月16日(土) 第12回～第13回助成事業

あきたスギッチファンド寄付者一覧(平成28年2月～平成28年3月)

※敬称略、順不動、お名前の公開許可を頂いた方のみ掲載します。

団体・企業等	株式会社あくら、株式会社福岡ドライクリーニング、メガネのアオヤギ、 有限会社半田葬儀社、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、有限会社ワタ商事、 株式会社伊藤園秋田支店、サントリービバレッジサービス(株)秋田支店、 ダイードリンコ株式会社、ヨコウン株式会社、厚生ビル管理株式会社、アルヴェ朝市、 羽場・市野・皿小屋生活サポートシステム、奥羽住宅産業株式会社、Welove あきた、 秋田県職員消費者生協、サークル山鳩、スギッチ応援隊、ごろりんハウス、 イオン催事、アマノ募金箱、スープホリック、遊学舎募金箱
個人	佐々木茂美、北村正、高橋信子、天雲成津子